

# 大学教育推進機構 大学教育研究推進室の 研究業績・教育活動

(2018年4月1日～2019年3月31日)

米谷 淳 教授

## ○ 書籍の一部を執筆

- ・ 「知性の捉え方と学力観」 神藤貴昭・橋本憲尚 編著『教育心理学』 ミネルヴァ書房、62-83頁、2019年3月20日

## ○ 紀要論文

- ・ Sugiyama, H., Maiya, K., Furutani, M. & Muranaka, Y. “An action study on the cognitive behavioral training effect on dozing during classes”, *Kobe Journal of Higher Education*, 27, 93-102. 2019.3.31
- ・ 「授業改善に関する実践的研究 –15.テキストマイニングによる学習ポートフォリオ評価–」 大学教育研究 第27号、125-138頁、2019年3月31日
- ・ 村中泰子・米谷淳・谷篤史・伊藤真之・蛭名邦禎「ROOT フォローアップ-基礎ステージと実践ステージにおける高校生の成長-」 大学教育研究 第27号、139-158頁、2019年3月31日

## ○ 教育業績

<学内における授業の担当>

- ・ 平成30年度前期1Q 国際文化学研究科（博士課程前期課程）「対人行動特殊講義1」
- ・ 平成30年度前期2Q 国際文化学研究科（博士課程前期課程）「対人行動特殊講義2」
- ・ 平成30年度前期 国際文化学研究科（博士課程後期課程）「対人行動論特別演習」
- ・ 平成30年度前期 国際文化学研究科（博士課程前期課程）「研究指導演習Ⅰ」
- ・ 平成30年度前期 国際文化学研究科（博士課程前期課程）「研究指導演習Ⅲ」
- ・ 平成30年度前期1Q,2Q 全学共通教育「心理学A」
- ・ 平成30年度後期 国際文化学研究科（博士課程前期課程）  
「感性コミュニケーション論演習」
- ・ 平成30年度後期 国際文化学研究科（博士課程前期課程）「研究指導演習Ⅱ」
- ・ 平成30年度後期 国際文化学研究科（博士課程前期課程）「研究指導演習Ⅳ」
- ・ 平成30年度後期3Q,4Q 全学共通教育「心理学A」
- ・ 平成30年度後期4Q 全学共通教育「環境学入門B」  
(第6回 環境とコミュニケーション)、2019年1月22日

<学外における授業の担当>

- ・ 平成 30 年度前期放送大学兵庫学習センター面接授業「心理学実験 2」  
2018 年 4 月 25 日・26 日
- ・ 平成 30 年度後期放送大学兵庫学習センター面接授業「心理学実験 2」  
2018 年 10 月 27 日・28 日
- ・ 平成 30 年度放送大学卒業論文研究指導

<学内における FD の担当>

- ・ 平成 30 年度新任教員ウェルカムセミナー「うりぼーネットや BEEF の効果的な活用について」、2018 年 5 月 15 日

○ 学内活動等

- ・ 大学教育推進委員会委員
- ・ 全学教務委員会委員
- ・ 全学教務委員会高大連携企画推進委員会委員長
- ・ 全学評価・FD 委員会委員
- ・ 全学評価・FD 委員会教育・検討 WG 座長
- ・ 国際教養教育委員会委員
- ・ 国際教養教育委員会事業専門委員会委員長
- ・ 情報基盤センター運営委員会委員
- ・ PC 必携化 WG 座長
- ・ 神戸 GCP 委員会委員
- ・ GSC 委員会委員
- ・ GSC 実施担当者

○ 社会活動等

- ・ 大学コンソーシアムひょうご神戸研修交流委員会委員
- ・ 兵庫県教育委員会ひょうごグローバル・リーダー育成推進懇話会協議委員
- ・ 川崎病院看護師リーダーシップ研修（入門編）、2018 年 12 月 7 日

○ 学会活動

- ・ 感情心理学会「感情心理学研究」編集委員会委員

**山内 乾史 教授**

○ 著書・編著書

- ・ [単著] 『才能教育の国際比較』東信堂、2018 年 12 月
- ・ [単著] 『比較教育学の研究スキル』東信堂、2019 年 1 月

○ 編纂書の一部に執筆したもの

- ・ 「才能教育について(概説)」山内乾史編『才能教育の国際比較』東信堂(原清治と共著)、2018年12月、3-30頁
- ・ 「結論」山内乾史編『才能教育の国際比較』東信堂、2018年12月、227-236頁
- ・ 「エリート教育研究の課題と展望」山内乾史編『才能教育の国際比較』東信堂、2018年12月、237-313頁
- ・ 「比較教育学の研究倫理」山内乾史編『若手研究者必携 比較教育学の研究スキル』(武寛子、澤野由紀子と共著)東信堂、2019年1月、121-132頁

○ 査読付き学術論文

- ・ [紀要論文]「大学進学に伴う都道府県内移動の考察(その3) —神戸大学の研究(その8) —」『大学教育研究』第27号、神戸大学大学教育推進機構、2019年3月、85-91頁

○ 辞書項目の執筆

- ・ [事典項目]「国際日本文化研究センター」、「総合地球環境学研究所」、「人間文化研究機構」、「国文学研究資料館」、「国立国語研究所」、「大学共同利用機関法人(改訂版)」、「PISA(改訂版)」、「エリート(改訂版)」、「学歴社会(改訂版)」『日本大百科全書ニッポニカ』小学館(CD-ROM版)、2018年5月

○ 高大連携講義

- ・ 「教育社会学入門」京都府立綾部高校・高大連携講義(於神戸大学)、2018年11月13日

○ FD 講師等

- ・ 「神戸大学の学生プロフィールと学修意識について」平成30年度神戸大学新任教員ウェルカムセミナー、2018年5月15日
- ・ 「日本の教育制度と地方行政」JICA 課題別研修「教育行財政—基礎教育の質、内部効率性、格差に焦点を当て—」(於神戸大学)、講師、2018年6月26日

○ 教育業績

国際教養教育院

- ・ 「学校教育と社会」各クォーター2コマずつ計8コマ
- ・ 「神戸大学の研究最前線 A、B」各クォーター1コマずつ計4コマ
- ・ 高度教養科目「大学教育論」第3クォーター1コマ(米谷淳、近田政博と共同開講)

国際協力研究科

- ・ 「比較教育計画論」後期1コマ
- ・ 「教育協力論演習」前期1コマ、後期1コマ

## 大学院生の担当

- ・ 国際協力研究科  
後期課程 6 名、前期課程 6 名、研究生 2 名の指導教員を務める。  
平成 30 年度において前期課程で修士論文の主査 2 本、副査 4 本を担当した。
- 学内活動等
  - ・ 大学教育推進委員会委員
  - ・ 全学教務委員会委員長
  - ・ 国際教養教育委員会委員
  - ・ 国際教養教育院教務専門委員会委員
  - ・ 国際教養教育院学際教育部会長
  - ・ 附属図書館研究開発室 室員
- 学会活動
  - ・ 日本比較教育学会常任理事
  - ・ 日本教育社会学会理事、教育部長

## 近田 政博 教授

- 論文
  - ・ 近田政博「神戸大学におけるノートパソコン必携化をめぐる議論の特質と課題」  
神戸大学 大学教育推進機構編『大学教育研究』第 27 号、2018 年 3 月、39-56 頁
- 特集委嘱論文
  - ・ 近田政博「高等教育関連センターの機構化が意味するもの－名古屋大学と神戸大学の比較考察」名古屋大学高等教育研究センター編『名古屋高等教育研究』第 19 号、2019 年 3 月、33-48 頁
- 分担執筆
  - ・ 近田政博「定性的研究のライティング・スキル－現地調査型の研究を論文にまとめる」  
山内乾史編著『若手研究者必携 比較教育学の研究スキル』東信堂、2019 年 1 月、95-106 頁
- 教材改訂
  - ・ 神戸大学 大学教育推進機構『神戸大学へようこそ！平成 31 年度初年次セミナー共通教材』2019 年 3 月、全 50 頁（主著者、平成 30 年度版を改訂、学内オンラインに掲載）

○ 新聞・雑誌記事

- ・ 近田政博「卒業論文を書かせることの意義 指導教員の役割は何か」『教育学術新聞』第 2730 号、2018 年 6 月 13 日、2 面
- ・ 関口洋平、近田政博「ベトナムの高等教育戦略 市場化と国際化を推し進める社会主義国」『カレッジマネジメント』213、2018 年 11 月 1 日、56-59 頁

○ 学会・研究会等での発表

- ・ 近田政博「神戸大学における『2 学期クォーター制』の影響と課題」関西地区 FD 連絡協議会総会でのポスター発表、大阪大学豊中キャンパス、2018 年 5 月 19 日
- ・ CHIKADA, M., “How has the quarter system on academic calendar affect Japanese universities?” 54th Japan Comparative Education Society, Higashi-Hiroshima City, Japan, 23 June, 2018.
- ・ 近田政博「クォーター制導入によって生じた課題をどう改善するかー神戸大学の事例ー」、大学教育学会 2018 年課題研究集会でのポスター発表、長崎国際大学、2018 年 12 月 1 日

○ 外部資金（研究代表者のみ）

- ・ 科学研究費補助金 挑戦的研究（萌芽）「大学の中堅教員に求められる教学マネジメント能力とその形成方法」（平成 29～31 年度）

○ 学内における授業担当

平成 30 年度前期

- ・ 基礎教養科目 教育学 B（第 1 クォーター：1 コマ）
- ・ 総合教養科目「教育と人間形成」（第 2 クォーター：1 コマ）
- ・ 大学院科目「比較教育発展論」（国際協力研究科：1 コマ）
- ・ 大学院演習「教育協力論演習」（国際協力研究科：2 コマ連続）

平成 30 年度後期

- ・ 高度教養科目「大学教育論」（第 3 クォーター：1 コマ 米谷淳、山内乾史と共同開講）
- ・ 基礎教養科目 教育学 B（第 3 クォーター：2 コマ）
- ・ 総合教養科目「教育と人間形成」（第 4 クォーター：2 コマ）
- ・ 大学院演習「教育協力論演習」（国際協力研究科：2 コマ連続）

○ 修士論文最終試験

- ・ 副査 6 名

○ 博士論文審査（終了分のみ）

- ・ 副査 3 名

- 学内活動等（主要なもの）
  - ・ 全学評価・FD 委員会 委員長
  - ・ 全学教務委員会 ICT 授業検討ワーキンググループ 座長
  - ・ 大学教育推進委員会 ラーニングコモンズ専門委員会 委員長
  - ・ 大学教育推進機構紀要『大学教育研究』第 27 号 編集幹事
  - ・ 戦略情報室 室員
  - ・ 附属図書館研究開発室 室員
  - ・ 医学科カリキュラム委員会 委員
  
- 学内研修講師
  - ・ 近田政博「アクティブラーニングの実践方法」平成 30 年度新任教員ウェルカムセミナー、2018 年 5 月 15 日
  - ・ 近田政博 “The pendulum swing: systematic learning vs. experiential learning”, 国際協力研究科 JICA 研修、2017 年 6 月 29 日
  - ・ 近田政博「BEEF で補講を実施する際の留意事項」大学教育推進機構 BEEF 活用セミナー 中級編、2018 年 9 月 10 日
  - ・ 近田政博「BEEF を活用して双方型授業をめざす」大学院保健学研究科 FD、2018 年 9 月 12 日
  - ・ 近田政博「BEEF を活用する際の留意点」大学院国際協力研究科 FD、2018 年 11 月 7 日
  
- 学外講演
  - ・ 近田政博「指導教員に必要な留学生受け入れの基礎知識－共有すべき工夫と課題」平成 30 年度 国立大学法人留学生センター等留学生指導担当研究協議会での基調講演、東京大学本郷キャンパス、2018 年 6 月 26 日
  - ・ 近田政博「大学における研究指導方法に関する課題と改善策」天理大学体育学研究科 FD、2018 年 7 月 13 日
  - ・ 近田政博「大学院における研究指導上の課題と改善策」奥羽大学 FD、2018 年 7 月 20 日
  - ・ 近田政博「ベトナムの教育事情とベトナム人学生の特性について」東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コース、2018 年 7 月 28 日
  - ・ 近田政博「中堅教員のための研究指導講座 大学生の卒論作成を支援する方法」SPOD フォーラム 2018、香川大学、2018 年 8 月 30 日
  - ・ 近田政博「高等教育関連センターの機構化は何をもたらすだろうか？」名古屋大学高等教育研究センター 20 周年記念シンポジウム、2018 年 9 月 27 日
  - ・ 近田政博「ポスト平成時代の大人に求められる能力とは」兵庫県立須磨東高等学校、2018 年 11 月 20 日
  - ・ 近田政博「博士課程（後期課程）院生への研究指導 研究者養成に必要な長期的視点とは？」立命館大学文学研究科 FD、2019 年 1 月 29 日
  - ・ 近田政博「修士課程（前期課程）における研究指導 人文社会系の日本人学生を想定して」立命館大学 2018 年度教学実践フォーラム、2019 年 1 月 29 日

- ・ 近田政博「学士課程および大学院課程における研究指導上の課題と創意工夫」 日本大学 生産工学部、2019年3月8日

○ 学会活動

- ・ 日本比較教育学会 理事
- ・ 一般社団法人大学教育学会 評議員
- ・ 一般社団法人大学教育学会 課題研究候補選定委員会 委員
- ・ 国立大学法人名古屋大学高等教育研究センター「質保証を担う中核教職員能力開発拠点」運営委員会 委員

○ 社会貢献活動

- ・ NPO 法人 世界アマチュアオーケストラ連盟 理事

**友松 史子 特命助教**

○ 事例研究

- ・ 友松史子「低年次生を対象とした中短期海外学修の可能性と課題－神戸 GCP シンポジウムを手がかりに－」、神戸大学 大学教育推進機構『大学教育研究』第27号、2019年3月、113-124頁

○ 教育実績

<学内における授業担当>

■ 総合教養科目「グローバルチャレンジ実習」

平成30年度前期（第2クォーター）

- ・ インターンシップチャレンジコース（インド）
- ・ インターンシップチャレンジコース（ベトナム）
- ・ フィールドワークチャレンジコース（マレーシア）
- ・ ボランティアチャレンジコース（ネパール）
- ・ グローバルチャレンジコース A（カナダ）
- ・ グローバルチャレンジコース A（ベトナム・ホーチミン）
- ・ グローバルチャレンジコース B（ハーバードメディカルスクール）
- ・ グローバルチャレンジコース B（アイスランド）
- ・ グローバルチャレンジコース B（ベトナム・ハノイ）

■ 「海外渡航に際しての危機管理学修」\*上記9コースと下記コース参加学生を対象に実施

平成30年度前期（第2クォーター）

- ・ UPLB 農学英语コース・理学 UPLB コース
- ・ 理学 Nanyang コース
- ・ ギャップターム海外協定校派遣コース

- ・ 海外インターンシップ「ハノイ貿易大学国際サマープログラム」
- ・ 海外インターンシップ「モンゴル・インターンシップコース」
- ・ 海外インターンシップ「アルメニア・フィールドワークコース」

■ 総合教養科目「グローバルチャレンジ実習」

平成 30 年度後期（第 4 クォーター）

- ・ フィールドワークチャレンジコース（ミャンマー・ヤンゴン）
- ・ フィールドワークチャレンジコース（ミャンマー・マンダレー）
- ・ フィールドワークチャレンジコース（タイ・チェンライ）

■ 「海外渡航に際しての危機管理学修」\*上記 3 コースと下記コース参加学生を対象に実施

平成 30 年度後期（第 4 クォーター）

- ・ KUPES コース

■ 総合科目 I 「アジアへの誘い」（副担当）

平成 30 年度後期（第 4 クォーター）

- ・ 授業内容企画、コーディネート
- ・ 講義担当：第 1 回目、第 8 回目

○ 海外プログラム担当（企画立案・現地連絡調整・送り出しを担当）

平成 30 年度 8-9 月

- ・ インターンシップチャレンジコース（インド）
- ・ インターンシップチャレンジコース（ベトナム）
- ・ フィールドワークチャレンジコース（マレーシア）
- ・ ボランティアチャレンジコース（ネパール）
- ・ グローバルチャレンジコース A（カナダ）
- ・ グローバルチャレンジコース A（ベトナム・ホーチミン）
- ・ グローバルチャレンジコース B（ハーバードメディカルスクール）
- ・ グローバルチャレンジコース B（アイスランド）
- ・ グローバルチャレンジコース B（ベトナム・ハノイ）
- ・ 海外インターンシップ「ハノイ貿易大学国際サマープログラム」
- ・ 海外インターンシップ「モンゴル・インターンシップコース」
- ・ 海外インターンシップ「アルメニア・フィールドワークコース」

平成 30 年度 2-3 月

- ・ フィールドワークチャレンジコース（ミャンマー・ヤンゴン）
- ・ フィールドワークチャレンジコース（ミャンマー・マンダレー）
- ・ フィールドワークチャレンジコース（タイ・チェンライ）

○ 神戸グローバルチャレンジプログラムコーディネーター業務

<プログラム関連イベント企画立案, 準備, 運営等 > (括弧内は実施月)

- ・ 全体説明会 (4月) の企画立案、準備、運営、本プログラム紹介担当
- ・ 英語力向上セミナー (6-7月) の企画立案、開講準備、運営
- ・ 全体報告会 (10月) の企画立案、準備、運営
- ・ 神戸グローバルチャレンジプログラムシンポジウム「Global Challenge from KOBE  
～世界へ飛び出す学生たち～」主催、準備・運営 (11月開催)

<海外渡航に際しての危機管理>

- ・ プログラムの学外学修国の安全情報収集、関係職員への情報発信

<広報関係>

- ・ 本プログラム広報媒体 (HP、年次パンフレット) 制作補助
- ・ ホームカミングデー (10月) 記念式典での学生による活動成果報告発表指導

<本プログラム及び学内海外プログラム説明担当>

- ・ 新入生向け全体説明会 (4月)
- ・ 工学部主催本プログラム説明会 (4月)
- ・ 平成30年度編入・大学院から神大生になった人への編入生ガイダンス (5月)

<海外プログラムに関する学生の個別相談対応> (通年)

<シンポジウムの参加>

- ・ 武蔵野大学学外学修 (フィールド・スタディーズ) シンポジウム「ギャップイヤーから  
フィールドスタディーズへ～プログラム最終年度に向けての現状報告～」  
(於武蔵野大学)、2019年1月

<新規コースの開拓>

- ・ 新規学外学修コースの作成 (アルメニア・インド)

○ 学内活動

- ・ 平成30年度神戸グローバルチャレンジプログラム委員会委員
- ・ 平成30年度『大学教育研究』編集委員会編集委員

○ シンポジウム

- ・ 神戸グローバルチャレンジプログラム「世界へ飛び出す学生たち-Global Challenge  
From Kobe」第3部パネルディスカッションのファシリテーター (於神戸大学)、  
2018年11月3日